



学校だより 4月号

発行日 令和7年4月7日

大志の学び舎

世田谷区立太子堂小学校

『教師は授業 家庭は愛情 地域で育つ 9年間』



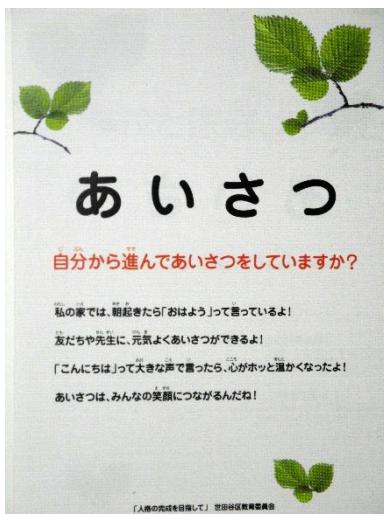
新たな決意

校長 廣瀬 維謙

4月の目標

人格の完成を目指して
「あいさつ」

- ＜安全＞
 - ・通学路を正しく歩こう
- ＜保健＞
 - ・自分の体を知ろう
- ＜給食＞
 - ・準備と配膳の仕方を覚えよう
- ＜あいさつ＞
 - ・元気な声であいさつをしよう



〒154-0004

世田谷区太子堂5-7-4

電話 03 (3413) 4621

FAX 03 (3413) 4799

御入学、御進級おめでとうございます。

令和7年度、創立97年目の太子堂小学校は43名の新1年生を迎える、児童数394名、15学級、教職員約50名の体制でスタートしました。今年度も、本校の教育目標である『学び合う子 思いやりのある子 たくましい子』の達成に向け、全教職員が一丸となって努めてまいります。

さて、子育てはよく「家庭でしつけ、学校で育て、地域で成長する。」と言われます。家庭・学校・地域の三者が共通理解を図り、一体となって推進することが大切です。学校では毎年、「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」など、いろいろな場面ですぐに挨拶ができるよう常に指導をしています。これらの頭の言葉を集めると、皆さん御存じの「オアシス」になります。

視点を変えて、家庭の「オアシス」を考えてみると、家族同士のつながり「絆」を表す言葉かけになるかと思います。

『オ』は、思いやりのオです。「お帰り」「お疲れさま」などの言葉を聞くと、子どもは家に帰ってきて心が落ち着きます。

『ア』は、愛情のアです。「安心したよ」「慌てないで」といった言葉かけをすると、家族が自分を愛してくれているという満ち足りた気持ちになり、子ども自身もより家族を愛するようになります。

『シ』は、信頼のシです。「信じている」「しっかりしてきたね」など、温かく包み込んであげると、子どもの家族への信頼感がさらに高まります。

『ス』は、素直な心のスです。「すごいね」「すばらしい」など、素直に褒めると、子どもに喜びと勇気を与えます。

子どもの気持ちは、天気のように日々変わります。これらの言葉かけによって返ってくる言葉から、日々の変化を観察して、心配なことがあれば遠慮なく学校に御相談ください。学校と家庭が協力して問題解決に当たることが、子どもたちの幸せにつながります。

これまで、本校を大事に思ってくださる方々に見守られ、様々な御協力や御支援をいたしました。今後多くの皆様にお力添えをいただけますと幸いです。新年度の始まりに、太子堂小学校の子どもたちのよさや可能性を伸ばすため、教職員と共に全力を尽くすという決意を新たにしています。今年度もよろしくお願いいたします。

★児童の写真・作品等の掲載について

- 学校だより、学年だより、学校ホームページなどにお子さんの写真や作品を掲載する場合があります。
- 顔と名前が一致するような掲載の仕方はしません。
- 顔がはっきり分かるような写真の掲載はしません。

上記のような条件でも掲載を希望しない場合は、4月14日(月)までに担任へお知らせください。